

イベントレポート

ワールドカップ報告（後編）

村越 真

日本の社会では、公式の会議のあとの飲み会や懇親会で仕事の重要な意志決定がなされるといわれている。このワールドカップ開催決定においても、日本の慣習はあてはまる。それは、96年8月、イスラエルで開かれたIOF（国際オリエンテリング連盟）総会のある朝に遡る。

夜はどうせパーティー等でトレーニングできないだろうと考えた僕は、朝ジョギングをしていた。同じように考える人々も多いもので、走っていると何人もの会議参加者と出会う。その中にフットO委員会のワールドカップ担当であるトーマス・ショールがいた。94年のユニバーの時に調査者としての活躍に感服して「御公儀測量方」のトレーナーを送った仲だ。並んで走りながら、「いつかは日本でも本格的な国際大会を開催したいんだ」と話すと、「じゃあ、2000年のワールドカップをやらなかい？」という。WC2000の締め切りはとうに過ぎていたが、オーストラリアと組んでやるはずのニュージーランドがあまり乗り気ではないという。「気のないニュージーランドがやるより、日本がやったほうがいいじゃないか！」その夜さっそくJOAの理事であり静岡の理事長である坂本氏に電話をして、協力をとりつけた。これが今回のWCのスタートだった。

準備のプロセスには様々な苦労があったが、得たものも多かった。とりわけ貴重な経験となったのは、コントローラとは何をなすべきかという点と、地図のコントロールだった。98年春から99年春にかけて、ワールドカップという大舞台に、僕は喜々として地図調査をこなした。99年春までに完成していた調査エリアの7割方は僕の調査エリアであった。IOFコントローラであるデービッド・ホッグと、ロブ・ブローライトはこのことをひどく心配した。「おまえはコントローラなのだ。おまえが地図調査をしてしまったら、誰がそれをチェックするのだ。だいたいおまえは実行委員会に深く係わり過ぎている。コントローラとは実行委員会とは一線を画すことのできる仕事なのだ。」そのことは重々承知していたが、人材的にも仕方ない、という言い訳は通用しない。実行委員会へのコミットは仕方ないとしても、地図調査からは身をひくべきだという彼らの主張を、僕は受け入れた。

彼らは地図調査の遅れやそれがコースプランに及ぼす影響についても厳しい意見を述べた。そして調査者が集まる場で、「正直に言って欲しい、いつまでにどれだけのことができるのか。」利用できるマンパワーは限られている。締め切りも決まっている。常に地図調査に優先順位をつけ、利用可能なマンパワーをもっとも効率良く配分し、またそれを監督することが、コントローラとしての重要な仕事となった。

地図調査内容のコントロールでは、記号の解釈という点で多いに勉強になった。IOFの地図作成規定に

準拠していると言っても、日本の多くの地図はローカルな地図記号解釈を採用している。こぶや凹地は、その場でのでっぱりやへこみを表現するのに使われているが、本来これらの記号は等高線で描けない地形に対して使うものである。その基準寸法も小さすぎる。通行可能度のハッチの利用はもっと多用されるべきだし、多くの「伐採地」は、木の高さが高すぎるので、森として表現すべきだ。見えと規定のバランスをとりながら調査者間の標準を確定していく作業は、地図作成で何がもっとも重要かという点に対する新たな視点を開いてくれた。

この作業の仲で、コントローラのロブはしばしば言った。「僕だったら違う表現をするが、解釈の違いとしてその表現を許容することはできる。」優れたコントローラとは、何がだめなのかを明確に指摘できるとともに、許容範囲についてもまた明確な基準を持っている者なのだ。僕はその後も、そのスタンスで調査者とやり合い続けた。この1年の間に随分と腕を上げた羽鳥とは、時には喧嘩ごしになりながら。その点からいっても、この地図は正確だけでなくバランスの取れた地図でもある。

スケジュールの遅れや記号選択の標準について文句を言われ続けた地図も、2月のコントローラ訪問の時には、「これまでのワールドカップのどれに比べてもひけをとらない」と評価されるまでになった。

ワールドカップの直前は、早く終わってほしいという気持ちに支配されたこともあるし、いくつかのマイナーミスも発生したが、競技自体は高い評価を受けた。日本の誰にとっても初めてのワールドカップの運営であったが、少なくとも対競技者へのサービスという点では、僕にはほとんどイメージ通りのワールドカップであった。すべきことも、テクニカルミーティングで出るであろうチームからの要求も、全ては予想の範囲内にあった。もし自分に20年間の国際大会におけるキャリアがなければ、その一つが予想外のアクシデントとして重くのしかかっていただろう。

ワールドカップの目的の一つは、世間にオリエンテリングの存在をアピールすることである。NHKの全国版ニュースに取り上げられたのはラッキーだった。視聴率から考えると、これまで世界で流れたどの番組よりも多くの人がオリエンテリングを見たことになる。また4/30の毎日新聞では、同新聞社の白戸氏（オリエンティア）の努力によって、一面の企画記事が掲載された。残念ながら全国版ではなかったが、それでもおそらくこれも今までのオリエンテリングに関する記事の中でもっとも多くの人が目にした記事の一つとなったであろう。マスメディアへの露出は、多分に幸運や個人の努力に負っている。これを組織的に継続するための活動が、今後必要だろう。

僕自身、ワールドカップは日本が一人前のオリエンテリング諸国になるための一ステップに過ぎないと思っている。地理的なハンディーがあるとは言え、これまで日本はあまりに国際的なアクションが少なすぎた。2

001年には秋田でワールドゲームズがある。そこにも世界のトップ選手80名が集まる。またこの夏のIOP総会では、2005年の世界選手権開催国に日本が選ばれるかもしれない。そうなれば、この5年間に多くの海外のオリエンティアが日本を訪れるだろう。それがまた、日本のオリエンティアがオリエンテーリングをより深く楽しむための一ステップになればよいと思う。

新潟大学大会報告(4/23:日)

新潟県西山町内郷小学校
武石雄市

例年4月に開催している新潟大学大会は、今年も「ワールドカップin富士」の翌週4月23日(日)越後線の沿線西山町内郷小学校を会場として「雪割草の里」のトレインで行われた。

筆者は、前夜地元(山形県)天童温泉でとある行事に全国から集まった50名ほどの昔の仲間を2次会まで深夜の接待していたので、エントリーはしていたものの移動時間を考えるとかなりきついので半ばあきらめていた。

しかしながら念の為、車に靴とウエアーは積み込み同室の仲間に、目覚めが6時前であれば出発することを伝えておいた。

参加したい執念が体内時計を揺り起こし、五時半に眼が覚めた。長野への通いなれた?山間の近道を走り繋ぎスタート指定時間に余裕で到着した。

日本海側の東北地方で大会が少ないので、新潟大学には日程が練り合わせれば極力参加している。

日本SKI-Oの第一人者幸山敏克君も、当時新潟大学のオフィシャルをしていた元木悟君の紹介もあり、この大会が御縁でめぐり合ったので、地域的にSki-o選手の掘り起こしも念頭に入れて参加している。

会場の更衣所に入り、参加者の顔ぶれをみて驚いた。常連の甲信越と東北の参加者に加えて関東地方の方が多く、遠くは中京にお住まいの若松御夫妻や辻村さん、土屋晴彦さんの顔も見られた。

決して多くない人数だが各クラスには全日本の女子チャンプの木植早生さん、インクレ女子チャンプの小林啓恵さんをはじめとして各大会の上位入賞者が少なからず居た。

唯一人の外人は、昨年スウェーデンから東北大に留学していると言うJim Bostromで聞けばSKI-Oが得意なんだそうだ。Jimは8月には帰国するそうで筆者としては会うのが半年遅く、とても残念な気持ちになった。

コースはそれなりに組まれてはいたが、地図の精度がいまいちで大半の者がどこかでロストしたようだ。

上級クラス入賞者のコメントもとれなかったし、M40Aに参加した筆者もミスした一人で、予想外の時間がかかったが、代謝の激しい地方の大学クラブにそれ以上の要求は控えるとして、この時期の開催が地元で定着し、ユニークな協賛品を賞品に提供し、トリムに参加した子ども達が100円の豚汁を配達してくれたりする、運営に気配りが感じられた雰囲気の良い楽しい大会である。

入賞賞品も豪華で、1位のおいしい新潟米を外人のJimが貰ったり、2位の池田和香子が一升ビンのお酒を貰って3位の賞品と交換したりととてもアットホームで

した。筆者も2位となりお酒を貰って大事に持ちかえったことは言うまでもありません。

来年も4月に、第15回大会として良寛の里?である

三島郡和島村・与板町で開催を予告しました。

新潟県一のトレインと自負していますが、願わくば地図調査に秋までじっくり時間をかけ、地図の精度アップに努力して、2001wocを目指している多くのエリート選手が参加する大会になることを期待しています。

次に、各大会の全成績が掲載されることの便宜性を模索する為、全成績を掲載します。(願う!購読者増加)

M21A

	篠原岳夫	川越市	1:20:27
	元木 悟	teem白樺	1:22:34
	西川雅浩	浪速包丁恋月夜	1:34:00
4	柏倉圭介	東北大 OLC	1:39:11
5	竹澤 聡	杏友会	1:41:15
6	金田哲生		1:42:38
7	杉尾 光	金沢大学 OLC	1:46:22
8	中村直人	たいすけクラブ	1:47:09
9	大久保聡	ホンキ新潟	1:47:45
10	玉木圭一	なにこいラブ	1:51:37
11	加藤靖裕	越王会ぴよこ	1:52:59
12	帖佐 崇	ホンキ新潟	2:02:22
13	八巻得郎	東北大 OLC	2:02:29
14	斎藤廉弘	地図と森の会	2:02:46
15	中野悦宏		2:11:12
16	古市高弘	ホンキ新潟	2:13:16
17	石井克行	ホンキ新潟	2:15:22
18	本間信行	北の越王会	2:15:45
19	伊東 実	東北大 OLC	2:16:19
20	鈴木智人	ともふの部屋	2:16:35
21	新保和久	ホンキ新潟	2:18:24
22	北川克彦	越王会石川支部	2:23:20
23	丸山 繁	こしわ会のへそ	2:36:24
24	赤池勝哉	かすいち倶楽部	2:38:02
	橋本健作	越王会	2:55:30
	福田圭佑	北陸大学 OLC	3:02:58
	小野良典	青山MCC	3:06:23
	岡 友和	ホンキ新潟	P 4
	和田英也	金沢大学 OLC	P 4
	木村建二郎	金沢大学 OLC	P 5
	渡辺 勝	インラニーニヤ	P 6
	小林 力	不由径	P 7
	渋谷友紀	D	P 1 2
	片山祐典	金沢大学 OLC	DNF
	鈴木健朗	金沢大学 OLC	DNF
	小野 毅	新潟大学	DNF
	小 大	ALLコパヤシーズ	DNF
	熊木貴矢	金沢大学 OLC	DNF

WA

	木植早生	木を植える会	1:14:31
	池田和香子	北陸初めて会	1:20:31
	志村直子	図情大OG	1:22:31
4	小林啓恵		1:25:48
5	丸山由美子	こしわ会	1:30:27
6	下村淳子	ノーコンの会	1:33:53

7	斎藤裕美	信大 O L C	1 : 39 : 18	6	近藤芳生	越王会見附支部	1 : 25 : 27
8	井上アヤ乃	東北大 O L C	1 : 41 : 15	7	阿部博幸	村松町 O L C	1 : 28 : 54
9	阿部真弓	杏友会	1 : 49 : 42	8	中野浩一	チンコクロイ北川	1 : 35 : 49
10	笹川伸子	越王会	1 : 51 : 20	9	庄子研也	越王会土浦支部	1 : 38 : 01
11	上田慶子	金沢大学 O L C	2 : 01 : 21	10	頼成祐介	越王会北陸支部	1 : 41 : 13
12	渡辺泰代	越王会とやっさんズ	2 : 07 : 21	11	本田真佐浩		1 : 43 : 59
13	大崎ふみ枝		2 : 15 : 09	12	高橋 滋	上越市 O L C	1 : 43 : 59
	南 朋江	金沢大学 O L C	2 : 41 : 02	13	小竹元司		2 : 09 : 00
	梁取康子	仲良し 3 人組	2 : 47 : 11	14	矢島一憲	大崎 O L C	2 : 20 : 42
	松木恭子	仲良し 3 人組	2 : 48 : 23		中村 博	青山 M C C	P 1
	川端沙織	仲良し 3 人組	P 1		皆川 博	大崎 O L C	P 3
	山浦友子	右近の会	P 3		亀虫角栄	越王会越王三区	D N F
	出利葉理子	信州大 O L C	D N F		武本千尋	信州大 O L C	D N F

MA S

	Jim Bostrom	Umedalens IF SWE	1 : 05 : 41
	丸山則和	越王会	1 : 08 : 58
	猪又憲治	越王会びよ子	1 : 15 : 53
4	小野 康	天下の越王会	1 : 16 : 26
5	八子和弘	こしわ会	1 : 17 : 56
6	岩井孝英	Forester	1 : 24 : 50
7	小川徹朗	信州大 OLC	1 : 25 : 48
8	山本玄峰	越王会 (静岡支部)	1 : 27 : 09
9	小木田紘典	東北大 OLC	1 : 27 : 42
10	神谷隆雄	つろまい OLC	1 : 58 : 04
11	小林 敬	上越市 OLC	2 : 10 : 12
12	真柄 隆	一応 OB	2 : 11 : 33
13	狩野修治	信州大 OLC	2 : 12 : 28
	星 一央	越央会ゴール職人	2 : 21 : 37
	渡辺武雄	ブッチ越王会青組	2 : 57 : 10
	鳥越恭一	長岡 OLC	P 1
	中山政道	信州大 OLC	P 5
	高橋義人	東京高専	D N F

WA S

	若松リツ子		2 : 02 : 38
	江部恭子	新潟市 O L C	P 1
	山本 文	信州大 O L C	P 6

M 4 0 A

	土屋晴彦	愛知 O L C	1 : 29 : 55
	武石雄市	S k i - O 研究会	1 : 30 : 37
	関 清	小千谷ｽｰｸﾗﾌﾞ	1 : 35 : 06
4	尾上秀雄	サン・スーシ	1 : 36 : 11
5	富樫 勉	サン・スーシ	1 : 39 : 48
6	辻村 修	コンターズ	1 : 40 : 31
7	岩淵昭男	長岡 O L C	2 : 11 : 04
8	捧 勲	三条 O L C	2 : 11 : 30
9	若松英雄	中京 O C	2 : 25 : 02
	鷹澤 正	上越市 O L C	2 : 33 : 10

参考 佐藤克成 越王会赤組 1 : 22 : 46

MB

	中島享一	筑波大 O B	1 : 01 : 15
	加藤 孝	2 4	1 : 04 : 47
	吉川泰亮	越王会北陸支部	1 : 05 : 53
4	川崎邦弘	越王会北陸支部	1 : 08 : 01
5	遠藤一夫	越王会	1 : 11 : 24

WB

杉本園子 上越市 O L C P 2

N

	小川竜司	北大薬学部	16 : 42
	田中誠一朗	大崎 O L C	19 : 14
	吉田華子	青山 M C C	25 : 09
4	平井亨弥		25 : 19
5	関 浩志	小千谷中学校	31 : 06
6	小野賢治	北大薬学部	31 : 25

G Q

	???	正答数	5/8	33 : 40
	内郷小学校ホッカー	正答数	7/8	37 : 02
	チームビビ	正答数	7/8	38 : 31
4	チームベベ	正答数	5/8	38 : 53
5	岩ちゃん	正答数	6/8	39 : 35
6	古市 Mark grande	正答数	7/8	42 : 15
7	コング越王会	正答数	7/8	43 : 47
8	ヤットーズ	正答数	5/8	48 : 53
9	ちーすば	正答数	5/8	52 : 58
1 0	P-club	正答数	6/8	73 : 36
	5 9 1 0			P2
	チェリー			P3

* 主催者は、A クラス参加者で所要時間の判明している者全てに順位をつけていたが、筆者は「日本オリエンテーリング競技規則」21.5 を適用し、順位を削除しました。

* 参加申込をしていて欠席した方の氏名は記載除外しました。

第 23 回長野県 O L 大会

5 月 13 日-14 日 長野県菅平高原

大会実行委員長 木村佳司

5 月 13 日-14 日の 2 日間、菅平高原にて第 23 回長野県大会が開催されました。

参加された皆様、おつかれさまでした。

オリエンテーリングではもうすっかりお馴染みになってしまった感のある菅平高原。しかし菅平高原といっても広いので、トレインバリエーションはさまざまです。また、毎回のイベントでそれぞれ新しい試みを行なって

おり、初めての人も楽しんでいただけると同時に、何度も菅高原を訪れている人にも、楽しんでいただけるようにと考えています。

今回のイベントではMTB-O大会が組みこまれていたことが特徴でした。IOFの定義するオリエンテーリングのカテゴリは4種類あり、そのうちの一つがMTB-Oなのですが、実際に日本でMTB-Oを行っているのはここ菅高原の大会だけになります。

今回は土曜日にMTB-Oを1レース、フットOを土曜日と日曜日に1レースづつ行うスケジュールで開催しました。

今回のイベントの発端をお話しましょう。

菅高原では今まで数々のオリエンテーリングイベントを行ってきました。菅高原はアクティブオリエンティアの間ですっかりお馴染みになってしまった感があります。そんなオリエンティアの中で、菅高原で最も人気の高い地域が、根子岳、四阿山山麓の牧場地域です。しかし、こここの殆どの地域は夏の間は放牧が行われていて、オリエンテーリングの利用はできません。そして冬はきびしい雪に閉ざされる・・・そんな季節の僅かな隙間を縫って、牧場を使ったオリエンテーリング大会は行われてきました。これから牧場が雪に閉ざされる晩秋ころには大会の許可が出ることはありましたが、春はなかなか許可をいただくことが出来ませんでした。

そんな中、毎年恒例の行事である菅高原MTB大会と同時開催なら牧場からの許可がいただけるかもしれない、オリエンテーリングももう数年の実績もあるし、牧場側もオリエンテーリングについて多少は理解をいただけたのではないかと。というアイデアが今回の企画の原点となりました。

そんな中、長野県協会の元木君と山浦さんが結婚することになり、彼らの思い出の地でもある菅高原で挙式をして、多くのオリエンティアにパーティに参加していただきたいという話が持ち上がり、これが13日夜のパーティとして行われました。菅高原の中で彼らの思い出の地を巡るマリッジ-Oが企画され、これも多数の参加者が参加いたしました。

今回のMTB-Oは菅高原の牧場の草原の中を直進するというオリエンテーリング要素の高い競技のはずでしたが、実際には牧場の見とおしが良すぎるため、ただの草原のMTBレースになってしまった感じがあります。MTB-Oの特徴として登りと下りではまるでスピード感が違うのですが、これも今回感じていただけたことと思います。

これに続いて行われた土曜日のフットOでは、菅高原の中で最も面白い部分で、牧場との兼ね合いで減らして使用できないエリアを使ったコースを設定しました。同じ時間に同じエリアでMTBのシドニーオリンピック予選のモデルイベントが行われていたので、テレインの制約がすごくあったのですが、それをなんとか避ける形でコース設定しました。制約以上に魅力の大きいテレインなので、参加者の方も充分楽しんでいただけたかと思えます。

日曜日のフットOは奥ダボススキー場全域を使用したコース設定でした。ここも見とおしの利くオープンテレ

インなので難易度は簡単。まるでクロスカントリーのようなレースのようですが、ちょっとしたミスがタイムに響いてきます。

この週末の天気予報は必ずしも良くなく、実際に前後の天気は決して良くなかったのですが、なぜかオリエンテーリングの3レース中だけはきっちりと太陽が顔を出すという、

絵に描いたような展開となりました。

MTB-O 成績 (2000年5月13日)

MTB-M (男子)		(出場者数 26名)	
1	竹澤聡	30	上尾 OLC 0:23:38
2	羽鳥和重		川口 OLC 0:23:56
3	加藤靖裕	29	越王会びよこ 0:24:24

MTB-W (女子)

MTB-W (女子)		(出場者数 17名)	
1	城山朋子	27	TelemarkCollege 0:24:16
2	金子恵美	25	上尾 OLC 0:24:23
3	中里恵理子	26	千葉大レディ 0:24:32

フットO イベント1 成績 (2000年5月13日)

M21A		出場者数 23名	
1	安斎秀樹	29	アトレチコ・アル 0:35:26
2	玉木圭一		浪速包丁恋月夜 0:38:05
3	金田哲生	26	浪速包丁恋月夜 0:38:30

W21A		出場者数 18名	
1	木植早生	40	チーム白樺 0:35:48
2	深沢博子	23	Team 白樺 0:38:07
3	中村正子	26	京葉 OL クラブ 0:38:26

M21AS		出場者数 14名	
1	加藤靖裕	29	越王会びよこ 0:33:50
2	山本賀彦	36	OLP 兵庫 0:33:59
3	武藤拓王	37	横浜 OLC 0:38:12

M45A		出場者数 4名	
1	美谷島孝	52	NAGANO-OLC 0:47:24
2	荻田育徳	47	オデッセイ 0:51:11
3	鷹澤正	61	上越市 OLC 0:52:57

MB		出場者数 4名		
1	桐田幸宏	36	大阪 OLC 0:21:36	
2	滝本正一郎	39		0:22:57
3	石井孝宏	33	方向音痴会 0:25:15	

WB		出場者数 4名	
1	城山朋子	27	TelemarkCollege 0:21:55
2	菅原裕実	40	多摩 OL 0:35:34
3	藤原泉	23	ラムネの会 0:42:15

フットO イベント2 (2000年5月14日)

M21A		出場者数 22名	
1	菅原琢	35	多摩 OL 0:35:55
2	安斎秀樹	29	アトレチコ・アル 0:36:05
3	丸山茂樹		長野 OLC 0:36:11

W21A		出場者数 8名	
------	--	---------	--

1	志村直子	26	かすいち俱樂部	0:31:34
2	大島裕子	31	朱雀 OLK	0:32:07
3	佐藤渚	24	右近の会	0:33:59

M21AS			出場者数	12 名
1	土屋智文	27	千葉 O L K	0:26:29
2	本間信行	28	越王会モトキング	0:26:37
3	山本賀彦	36	OLP 兵庫	0:26:47

M45A			出場者数	5 名
1	高橋厚	70	多摩 OL	0:31:12
2	酒井克明	51	Team 白樺	0:31:20
3	荻田育徳	47	オデッセイ	0:35:34

W45A			出場者数	3 名
1	武石ケイ子	53	SKI-O 研究会	0:48:06
2	三好良子	69	横浜 OL クラブ	0:53:55
3	江部恭子	73	新潟市 OLC	1:03:43

MB			出場者数	2 名
1	滝本正一郎	39		0:22:45
2	石井孝宏	33	方向音痴会	0:41:48

WB			出場者数	2 名
1	菅原裕実	40	多摩 OL	0:25:41
2	滝本泉	29		0:31:10

MN			出場者数	1 名
1	加藤柊弥	8		0:39:48

全国一斉オリエンテーリング大会

今年も全国一斉オリエンテーリング大会が各地で開催された。昨年の反省を踏まえて、完全な一斉ではなく、2週末の幅を持たせたこと、パーマメントコースにとらわれず、パークOなどもオプションに加えたことで、多彩な大会が開催された模様である。以下に、いくつかの県での開催状況をレポートする。

山形県

山形県協会理事長 武石雄市

6月18日全国一斉山形会場の米沢市「なでら山」は、真夏のような暑さになった。パーマの地図を持ち合わせていない山形県協会が、一斉大会に参加するには、何処を会場とするにも地図を準備しなければならない。

3月に大会開催意思をJOAに報告して準備に取りかかり、残雪の関係で調査に入ったのは5月の連休後でした。

調査を土屋定雄氏・智代さん御夫妻と3人で1ヶ月足らず、土屋氏が本邦初?のwith Core IDRAW9Jを使って作図した。

父の日と言うことでPRにつとめましたが、学校行事が組まれてトリムの参加者の予想がつかなかったが、県の最北端町(真室川町)から、クロカンスキースが少の子ども達が4時間掛けて参加してくれ、約100名になり主管者としては成功と評価しています。個人クラスも遠く神奈川、新潟、栃木、福島等参加がありました。賞品に1位はスト 製のマップホルダー提供。

隣接して可能度A & Bの森があります。トリムだけで

はもったいないので、来年5月4日個人クラスを多くして公認並?の大会「米沢オリエンテーリング大会」を計画中です。隣接のトレインにはオリエンテーリングを目的とした立ち入りを禁止します。上杉鷹山公生誕250年祭協賛大会として、米沢市と共催を打ち合わせ中です。

山形会場、第1位の結果を報告します。

個人クラス

M21A	安田 忠寛	二本松市役所	1 : 17 : 18
M35A	五十嵐則仁	横浜 O L C	1 : 53 : 25
M45A	三浦 成裕	米沢市	1 : 54 : 16
M60A	鷹澤 正	奴奈川 O L C	1 : 05 : 41
W50A	江部 恭子	新潟市 OLC	2 : 28 : 39
MB	川合 祥夫	米沢市	1 : 30 : 10

トリムクラス

一般組 代表	我妻 清司組	0 : 41 : 14
家族組 代表	渡辺 瑞樹組	0 : 25 : 38
シニア組代表	山本 英樹組	0 : 54 : 00
小学生組代表	川又ひろむ組	0 : 47 : 29
チャイルド組	全員一斉スタート	0 : 45 : 08

長野大会

木村佳司

今年も全国一斉 OL 大会長野会場を運営しました。昨年は100名程度の参加だったのですが、

今年は広報不足もあって15名程度の参加になりました。このため、ほとんど長野県 OL 協会の練習会のような雰囲気となっていました。

全国一斉大会に合わせて昨年は松本市のアルプス公園、今年は須坂市の臥竜公園でそれぞれニューマップを作成しています。この全国一斉大会を機会に自分たちの住んでいる地域の公園マップを整備している感じます。大会はその公園マップのお披露目を兼ねています。

競技はここ2回ともピンゴOを行っています。これは参加者がピンゴカード形式のコントロールカードを持ってトレインを走り、パンチパターンがピンゴになればゴールする資格ができるというものです。

4x4のマスの1から16までの数字をランダムに割り振っています。この数字の割り振りは1枚ずつ違っています。受付で参加者に好きなコントロールカードを選んでもらうのですが、このコントロールカードの選びがその後のレースに大きく影響してきます。

トレインの中には18個のコントロールがあります。コントロールに着くと、それぞれ1から16までの番号がふつてありますので、コントロールカードのその番号欄にパンチしてゆきます。

トレインの中にはさらにワイルドカードのコントロールが2個あります。これに遭遇すると自分の好きな所にパンチすることができます。ただしワイルドカードでパンチした後に正規の番号のコントロールを発見しても、それはパンチできません。

選手には18個のコントロールとスタート/ゴールの位置を示した地図が手渡されます。コントロール番号は入っていないので現地に行かなければ、コントロールのどこにパンチすれば良いのかは判りません。上級者はピンゴ2列、初級者はピンゴ1列を揃えます。こうすることで初心者から上級者まで全員同じコースで楽しむことができます。

競技はスコア〇と同じく一斉スタートです。ただし、スコア〇と違って、フィニッシュ時間がバラバラになるので運営はそれほど大変ではありません。スコアはここから得点を計算しなければ順位が判らないのに対して、ビンゴ〇ではゴール順がそのまま順位となり、参加者にも判りやすいです。主催者は計時とビンゴ列の確認をするだけです。

実際に競技者としてビンゴ〇を行うと、いろいろ作戦を考えたり、一発大当たりの賭けにでたりとなかなか面白いです。それでも地図とコントロールには一切のギャンブル要素はなく、速い人はやはり速く、遅い人はそれなりにレースが展開します。オリエンテーリング自体には運は介在しません。ギャンブルの要素があるのはコントロールカードの上だけです。このパークビンゴ〇は長野県では今後ますますファンが増えそうです。

今年で2回目のこのイベントですが、この大会に合わせて前日に長野県OL協会の総会を行い、その夜は泊りがけで懇親会、そして翌日は運営とレースといったちょっとした合宿気分です。長野県は結構広いので、協会の総会などもこうしたイベントに合わせてできるだけ泊まれるような環境で開催しています。

この土日ほとんどの小中学校は祖父母参観日を行っており、小学生や中学生を連れ出すのはなかなか難しいです。加えて一般の社会人もやはり祖父母参観日、運動会などで殆ど予定があるようです。長野県協会では来年の全国一斉大会長野会場は父の日より一週間早く開催しようと思っています。また来年もニューマップ作成を行う予定です。場所は松本の信州スカイパーク(空港公園)を予定しています。札幌より90分、博多より90分、東京より3時間です。

静岡大会(浜松城址)

村越 真

静岡県では18日に、家康の出世城として有名な浜松城址でのパーク〇大会として、全国一斉大会が行われた。前日の雨もやんでまずまずのコンディションの中、約50名が参加しての大会であった。このうち一般からの参加は40名。街中での大会であることを考えると寂しい気もするが、それでも40名の未経験者にオリエンテーリングを楽しんでもらえたことは大きい。静岡では、大学卒業者を除くと、新たなオリエンテーリング参加者は増えていないのが状況である。こうして経験した人々を中心にオリエンテーリングを定期的に行う愛好者が増えるよう、地道に広報・連絡を進めていく必要があるだろう。

広島県

伊東 陽子

前々日夜来から前日の雨模様で、18日(日)の開催が一時危ぶまれたが、本日(18日)は、快晴。夏空の下、強い日差しに参加・運営双方とも、じっとりと汗ばんだ大会となりました。

この大会は、坂町のパーマネントコースの再整備が終了し、坂町制50(?)周年記念のイベントでもあったのです。事前参加者45名に当日参加者100名

近く計約140名。いつもながら、由宇野球スポーツ少年団御一行様の参加も得て、にぎやかな大会となりました。広大の皆さんは、新入生歓迎を兼ねてか、上級生+下級生のトリム出場でした。大会運営は、広島クラブの新人旧人類(中には化石も混じって)とりまぜに、福山クラブの堀江さんの強制参加(させると)、坂町体協の皆さんのご協力を得て、スムーズに進めることができました。特に、受付+ゴールでお世話いただいた坂町体協の女性陣には、事前の講習会での成果を生かし、敏速に対応していただいて、ほんとうに助かりました。坂小学校の先生のご指導もあって、小学生組も難なく受け付けられました。坂町のあたたかい人情にふれることもできました。(坂町に嫁ぐなら、すぐ世話して下さるそうです。)上位3位までには、坂町特性のむらさき麦でつくったうどんが贈られました。

出場中に靱帯を延ばした(?)人がいた以外、怪我もなく終了することができました。ほっと一息。(来年もするのかなあ)

神奈川

伊東博司

この大会は第1部と第2部とに別れていまして、第1部が一斉大会、第2部は一斉大会併設の横浜市オリエンテーリングリーダークラブ大会となっていて、両大会への参加が可能でした。1部・2部とも、旭区の「子ども自然公園が」トレインで、地図は縮尺1:5000のB5版カラーコピーでした。

第1部はスタートが9時30分からのフリーポイント〇Lで、19のコントロールを任意の順に通過したあと、最終コントロールに指定されたコントロールをチェックしてゴールする形式でした。第2部は11時からのスタートのポイント〇Lでして、男子一般クラスは、第1部で使われた20のコントロールすべてを指定順にチェックするもので、地図交換があり、1枚目・2枚目ともコントロール数が10でした。

トレインとなった公園の一面にはバーベキューの設備がたくさんある斜面あり、そこでは美味しそうなおいのする煙の中を走りました。仮装大会と間違えられた大会参加者はいないようでしたが、公園の地面に敷物を敷いてその上に寝ころんでいる人からは、冷やかな目で見られていたような気がしました。

暑い中、運営して下さった横浜市オリエンテーリングリーダークラブの皆様、どうもありがとうございました。楽しい大会でした。

つくばROC大会

2000年5月28日 茨城県ひたちなか市



レースを振り返る渡辺円香選手と赤石英美選手

選手と金並由香（早大OC寿会）が制した。松澤は公認愛知作手大会に引き続き村越真（静岡OLC）を2分以上引き離す圧勝。一周目から2位以下に30秒以上の差をつける強さだった。3位は山口大助（鳩の会）と公認愛知作手大会と同じ世界選手権代表による上位独占になった。

女子は金並が一週目中村正子（京葉OLC）に大きく引き離されたが、2週目に逆転し最後は2位、ユニバーシアード代表の塩田美佐（筑波大）に二分差の力走。3位は地元茨城の木植早苗（地図と森の会）。

今回の競技形式、ワンマンリレーはショートタイプやパーク0同様、オリエンテーリングを観戦するにも魅力的にするために編み出された。マススタートで優勝者がゴールと共に分かることや、地図交換所である会場を通常3回通過し選手の走りを間近で見れること、またレー



ユニバーシアード代表の塩田選手にコーチングする村越選手

山本英勝

ワンマンリレーという珍しい競技形式を始め、「何かが違う」を企画したつくばROC大会は、300人を超える参加者の期待を裏切ることなく、大成功に終わった。

選手権クラスは男女それぞれ松澤俊行（京葉OLCクラ

ス展開が分かりやすいことで、通常のポイント0よりは観客にとって観戦しやすい。一方、選手にとっては限られたエリアを3周することになるので、あまり評判はよくなく、普及せず、冬のスキーOLで行われているのみである。しかし今回の大会では最初の2周のみパターンで分け、最後の1周を異なる回し方により、選手が同じところを何度も走るといった問題をある程度回避した。

またスタートリストの面でもワンマンリレーの観戦しやすいという特徴を活かす為、選手権クラスを一般クラス終了後にスタートさせるという工夫がされていた。更に、競技を終了した一般クラスの希望者は地図を購入し、選手権クラスを追走することが可能であった。

更に、観戦者はつくばROCOBである高島和宏氏のGPSデモで会場にいながら選手の走りを常時把握することを可能であった。競技者の一人、村越選手に取り付けられたGPSアンテナは、位置情報を携帯電話を通し、会場



3位のユニバーシアード代表山口大助選手（鳩の会）

に置かれたパソコンに転送する。その情報が地図上に点として表示されるという簡易なものであったが、デモのモニターの周りには10秒毎に送られてくる村越選手の走りを見ようと大勢集まった。

トレインである『国営ひたち海浜公園』はもともとは米国水戸対地射撃場であり、昭和48年に返還された後、「海と空と緑が友達 爽やか健康体験」をテーマに国営公園として平成3年に開園された。既に開園し公園として整備されているエリアと、未公開で整備中の林が範囲として含まれ、パライエティに富んだトレインになっている。芝生の広場、砂浜、藪の林と、それぞれ、競技者は異なるタイプのオリエンテーリングを楽しむことが出来た。これらを実現するために使われた、1:7500の縮尺と2m間隔等高線という珍しい設定は、スピーディなレース展開に適しており、参加者にとくに戸惑いはなかった模様である。

大会主催者であるつくばRunners' and Orienteers' Club（つくばROC）は茨城県南部をベースである。1988年に設立したクラブは大会参加を活動の中心に発展してきていたが、今回初の大会主催に踏み切った。

従来には見られない様々な工夫がなされた第一回大会は、第二回以降での更なる発展に大きな期待を抱かせる内容であった。